

岐阜の夏を 代表する味覚。 **鮎** あゆ

1300年以上の歴史の歴史を持つ長良川の鵜飼。伝統漁法で捕られる鮎は、清流のシンボルともされています。

天然の鮎は体全体が黄褐色で、胸びれの上の黄色い斑紋が鮮やかなのが特徴。石に付着した藻類を食べて育った天然鮎は、スイカのような爽やかな香りから「香魚」とも呼ばれます。

繊細な香りの鮎を美味しく味わう定番の塩焼き、新鮮だからこそ味わえる姿造り、甘い味噌が食欲をそそる田楽焼きにシメの鮎雑炊…と、この時期ならではの旬の味覚を存分にご堪能下さい。

骨まで柔らかい稚鮎から、卵がぎっしり詰まった子持鮎まで、時期によって変化する味わいも楽しみの一つ。岐阜の夏を代表する鮎づくしのお料理は、県外からのお客様へのおもてなしとしても喜ばれるはずです♪

鮎づくし会席 お一人様 8,000円～(税・サービス料別)

- 鮎一夜干・鮎玉子どじ・鮎なれ寿司
- 鮎姿造り、季節の真大、鮎塩焼き
- 鮎姿寿司、鮎田楽焼き、鮎骨せんべい・鮎天婦羅
- 鮎雑炊、水物盛り合わせ

※目の前で焼いた、鮎の塩焼きをお出しします。※すべて個室をご用意いたします。掘りごたつ、椅子席のお部屋もございます。※仕入れの状況により、内容の変更もございます。

季節限定 涼風会席 お一人様 6,000円～(税・サービス料別)

- 鮎塩焼き、サツキマスなど旬の味覚が楽しめる季節限定の会席料理です。

※すべて個室をご用意いたします。掘りごたつ、椅子席のお部屋もございます。※サツキマスは漁獲量が少なく、天候等の影響で入荷がない場合もございます。

和食マナー講座 「鮎の美しい食べ方」

鮎を味わうには、やはりはずせないのが“塩焼き”。難しいと思われるがちな鮎独特の食べ方ですが、コツを掴めば簡単に、美しい食べ方がマスターできます。美味しい食事を楽しみながら正しい和食マナーを身につけましょう。

◆日時：平成26年 6月21日(土)
11:00～13:30頃

◆参加費：3,200円(食事・飲み物込)

◆限定20名様

※服装指定などございません。みなさまでお気軽にお越し下さい!

TEL 0584-81-1290
FAX 0584-75-3355
Email sukeroku@oregano.ocn.ne.jp

氏名、連絡先(電話番号・メール)をご記入の上、電話、FAX、Eメールでお申し込みください。

受付締切 6/18(水)

助六
料理スタッフ

近藤 司

平成7年4月23日養老生まれの大垣育ち19歳です。趣味は映画鑑賞です。今は休みの日に好きな映画を観ながらゆっくりするのが樂みです。助六には高校の研修で3年間お世話になり、今年の4月から正社員としてお世話になっております。料理長や先輩方に迷惑ばかりかけてしまっていますが少しでもお役に立てるように日々努力していきたいと思っています。

助六の竹酒でもおなじみ 玉泉堂酒造さん 酒蔵見学 させていただきました!!

助六名物の竹酒に使用している『醴泉一れいせん一』などを造っている、養老町の玉泉堂酒造さん。今回はナント!仕込み中の酒蔵を見学させていただくことができました。

精米機

お酒を造るためのお米を精米する機械。助六で扱っている『醴泉』は“雄山錦”という品種で、精米は55%。約半分位の大きさになるまで削ります。

削られた“ぬか”的部分は飼料、みりんやお菓子の材料などに使用されるそう。

洗米機

精米したお米は、洗って指定の水分量まで吸水させます。今まで手作業だったものを自動で行うこちらの機械は、社長さんの考案。

蒸し器

お米を蒸す蒸し器はかなりのビッグサイズ!

すらりと並んだお酒のタンク。発酵中の様子も上から覗かせていただきました。お忙しいところ、案内してくださった山田社長さん、本当にありがとうございました!!

タンクごとに温度など、細かくチェックされています。こうして美味しい日本酒が出来上がるんですね♪

日本語のマナー 完璧講座

固有の文化も絶滅寸前!? 正しい物の数え方編

日本語は数量を数えるときに付ける“助数詞”が物によって決められています。さて、皆さんは正しく答えられますか?

日本酒の数え方

A 1杯 B 1献

簡単でおいしい!!

まかないレシピ

ホタテとエビの黄身酢がけ

<作り方>

- ①鍋の半分位まで水を入れ、火にかける。沸騰する間に黄身酢の材料をボウルに入れ、混ぜる。
- ②沸騰したら、鍋に黄身酢のボウルを入れ(湯煎)、ホイップバーなどでかき混ぜる。ある程度固まってきたら鍋から下ろし、冷やしたら黄身酢の完成。
- ③縦1/4に切ったきゅうりを2～3ミリ幅でななめに切り、ボウルに入れて塩をひとつまみふっておく。ホタテは半月切り、エビは食べやすい大きさに切る。ボウルにホタテ、エビ、軽く洗って水気を取ったきゅうり、ちぎった梅干しを入れ、軽く混ぜる。
- ④冷やした黄身酢の上に、きれいに盛りつけたら完成!

■レシピ作成／寺澤 智樹

※答えと解説は裏面に掲載しております。